

第3 2回千葉県ミニバスケットボール大会

2008.1.27 八千代市民体育館

<準決勝>

女子

	7 - 9		
	10 - 0		
富貴島(市川)	39	19	峰台小(船橋)
	12 - 8		
	10 - 2		

関東大会優勝の富貴島に対し、峰台小が挑戦する形になった試合は、富貴島 佐藤、峰台小 ヌンイラの両センターがリバウンドをがんばり、互角の展開。しかし、2Qに入ると峰台小は富貴島の2 - 2 - 1のゾーンを攻めきれず、伊藤、北川らのミドルシュートが決まりだした富貴島が点差を広げる。後半に入っても、峰台小は富貴島のゾーンを攻めきれず苦しい展開。試合の流れをつかんだ富貴島は長身の 佐藤、古川が高さを生かして得点を重ね、初の決勝進出を決めた。

	12 - 10		
	14 - 11		
習台二(船橋)	46	39	法典小(船橋)
	6 - 10		
	14 - 8		

船橋市勢同士の対戦となった試合は、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。習台二はセンター 吉岡にボールを集め攻撃を組み立てる。対する法典小も 手塚を中心にバランスの良い攻撃で得点する。2Qに入ると習台二は1 - 2 - 1のゾーンプレスでリズムをつかみ5点リードし、前半を終了する。3Qに入り、法典小は1 - 1 - 3のゾーンでインサイドを固め、石井のポストプレーが決まり始め、一時逆転する。4Qに入るとそれまで押さえられていた習台二 吉岡がゴール下を頑張り再びリードを広げ、決勝戦へ駒を進めた。

男子

	6 - 0		
	10 - 4		
村上イーグレッツ(八千代)	28	22	八 栄(船橋)
	6 - 10		
	6 - 8		

高さの村上、スピードの八栄と対照的な持ち味のチームの対戦になった試合は開始早々から村上の高さが八栄を圧倒し、海津のシュートなどでリードする。対する八栄は2Qに入り、松浦のミドルシュートが決まるが16対4と村上リードで前半終了。3Qに入ると八栄はオールコートでの激しいディフェンスから本来のリズムをつかみ、折井のミドルシュートなどで追い上げる。しかし、村上は 松永が高さを生かしたプレーで攻守ともに活躍する。一時は4点差まで点差が縮まったが、リバウンドで優位にゲームを進めた村上が逃げ切った。

	9 - 13		
	5 - 4		
前原中野木(船橋)	35	32	高根台(船橋)
	18 - 5		
	3 - 10		

船橋勢同士の対戦となった試合は、お互いに激しいマンツーマンディフェンスでスタート。高根台は 内田のジャンプシュートで先制するとリズムよく攻撃を組み立てリードを奪う。2Qに入ると両チームとも厳しいディフェンスの前に得点ができず、高根台3点リードで前半終了。3Qに入ると前原中野木はセンター 千葉がゴール下を支配し、遠藤のシュートが次々に決まり、一気に逆転する。4Qに入ると高根台はマンツーマンプレスでボールを奪い、必死に追い上げるが冷静にゲームを進めた前原中野木が勝利を収めた。

< 決勝 >

女子

	16 - 2	
	14 - 10	
富貴島(市川)	64	37 習台二(船橋)
	17 - 15	
	17 - 10	

関東大会に出場したチーム同士の女子決勝。立ち上がりから富貴島は2 - 2 - 1のゾーンプレスで習台二のミスを誘い、佐藤や小藤田らがリズムよく得点を重ねていく。習台二は長身の吉岡を中心に攻撃を組み立てるが、苦しい体勢でのシュートが多く、思うように決まらない。2Qに入っても富貴島は2 - 2 - 1のゾーンプレスでプレッシャーをかける。習台二も1 - 2 - 1 - 1のゾーンプレスを仕掛け、激しい攻防となる。ここでも高さに勝る富貴島が優位にゲームを進め18点リードで前半終了。3Qに入り、習台二は、斉藤の速いドリブルからのシュートや吉岡のポストプレーなどで徐々に点差を縮めていく。しかし、ファウルが多くなり、川島、斉藤が5ファウルで退場してしまう。富貴島は古川、北川らが確実にシュートを決め、再び突き放しにかかる。4Qに入っても、積極的にディフェンスで仕掛ける習台二に対し、佐藤、古川の高さを生かした攻撃で落ち着いて得点を重ねる富貴島が最後まで持ち味の高さを生かしたバスケットを展開し、初の優勝を手にした。

男子

	6 - 5	
	8 - 12	
村上イーグレッツ(八千代)	37	26 前原中野木(船橋)
	9 - 6	
	14 - 3	

関東大会出場の村上イーグレッツに船橋市勢としての意地を見せたい前原中野木の対戦となった男子決勝。村上は2 - 1 - 2のゾーン、前原中野木はマンツーマンディフェンスでスタート。高さで勝る村上は海津のポストプレーでリードを奪う。対する前原中野木も果敢にカットインを試み、ファウルから得たフリースローで得点する。2Qに入り、村上は1 - 2 - 1 - 1のゾーンプレスでリズムをつかもうとするが前原中野木遠藤の絶妙なパスやミドルシュートがおもしろいように決まり、逆転して前半終了。3Q開始早々、前原中野木は遠藤が立て続けにシュートを決め、9点差までリードを広げるが、村上は西田のミドルシュートや海津のポストプレーなどで一気に同点まで追い上げる。4Qに入ると本来のリズムを取り戻した村上が高さを生かした攻撃でゴール下を支配し、一気に前原中野木を引き離す。何とかしたい前原中野木ではあったが村上の高さの前に思うような攻撃ができず、最後まで落ち着いてプレーした村上が2年ぶり3回目の優勝を飾った。

男女の優勝チームは3月28日～30日に東京代々木第一体育館、第二体育館で行われる全国大会に出場します。